

2019年 第18回 鉛年間大会講演会のご案内

本年2019年は鉛年間になります。当協会においては「鉛の特性正しく理解 未来へつなげ 鉛の効用」をスローガンに掲げ、鉛製品の需要振興を目的として各種事業を展開しております。その最大のイベントとして第18回 鉛年間大会講演会を開催いたします。業務ご多忙の折りとはいえ、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

(参加申込みにつきましてはホームページ <https://www.jlzda.gr.jp/> から可能です。)

2019年 第18回 鉛年間大会講演会

共催：全国鉛管鉛板工業協同組合、日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター

協賛：一般社団法人 電池工業会

一般社団法人 日本産業車両協会

日本無機薬品協会

全国鉛錫加工団体協議会

開催日時：2019年11月20日(水) 13:20~16:45

会場：連合会館 2階 大会議室 (〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

<アクセス> 東京メトロ千代田線 「新御茶ノ水駅」B3出口 (徒歩0分)
東京メトロ丸ノ内線 「淡路町駅」
都営地下鉄新宿線 「小川町駅」
JR中央線・総武線 「御茶ノ水駅」聖橋口 (徒歩5分)



1 ザ・ビー お茶の水 2 お茶の水ホテルジュラク 3 ホテルマイステイズ御茶ノ水
P 有料駐車場

2019年 第18回 鉛年間大会講演会プログラム

1. 日時 2019年11月20日(水) 13:20~16:45
2. 場所 連合会館 2階大会議室(東京都千代田区神田駿河台3-2-11)
3. プログラム

13:20~13:25 開会の辞および案内

日本鋳業協会 鉛亜鉛需要開発センター センター長 築城 修治

13:25~13:30 主催者挨拶

日本鋳業協会 会長 小野 直樹

13:30~13:35 ご来賓挨拶

経済産業省 製造産業局 金属課長 黒田 紀幸

13:35~14:15 「鉛の需給・価格と今後の展望について」

三菱マテリアル株式会社 金属事業カンパニー 製錬事業部 営業部長 高橋 浩二
国内及び世界の鉛の需給の回顧、並びに鉛を取り巻く環境と価格推移に就いて考察を述べ、また自動車業界の変遷や環境規制に伴う今後の鉛市場の展望に関する予測を立てる。

14:15~14:55 「鉛の需要創造の取り組み～家庭用循環型鉛蓄電池システム事業について～」

サーキュラー蓄電ソリューション株式会社 代表取締役社長 上岡 功幸
電力システム改革、再生可能エネルギーに向けた蓄電システムニーズの拡大に対し、リサイクル性能に優れる鉛を活用した安価な循環型鉛蓄電池システムを開発し、鉛の需要創造を目指す。

14:55~15:10 休憩

15:10~15:50 「自動車用鉛蓄電池の技術動向」

株式会社GSユアサ 理事 自動車電池事業部 技術本部 本部長 大前 孝夫
最近の自動車用鉛蓄電池は、車両性能を左右する重要な部品に位置づけられている。電池を取り巻く規格や規制、電池への要求とそれに対して行ってきた開発内容や技術動向について述べる。

15:50~16:40 「国際廃炉研究開発機構(IRID)における1F廃炉の技術開発の状況」

技術研究組合 国際廃炉研究開発機構 開発計画部 部長 奥住 直明
国際廃炉研究開発機構(IRID)は福島第一原子力発電所の廃炉作業に必要な技術の研究開発に取り組んでいる。原子炉格納容器の内部調査技術開発や、燃料デブリを取り出し、安全に移送・保管するための技術開発等の現状を紹介する。

16:40~16:45 閉会の辞

全国鉛管鉛板工業協同組合 理事長 佐久本 明